

ディーセントワークニュース

字だけで
すみません！

すべてのハラスメントをなくし
ジェンダーレスな社会を目指して

2023年3月13日
東京土建渋谷支部
ディーセントワーク
推進委員会
第2号

「はじめに」

東京土建渋谷支部の皆さんこんにちは！渋谷支部にはディーセントワーク推進委員会という集まりがあります。誰もが人間らしく働くには何が必要で何がいらなくて何をしたらいいのか、仲間と考える場所です。このニュースでは、組合員の仲間のハラスメントやジェンダーに関する体験談や解決策・法令、世の中の流れなどを掲載します。ぜひお付き合いください。

「職場のハラスメントってどんなもの？ジェンダーって何？」

まずは言葉の説明です。

パワーハラスメント…優越的な地位のひとが、仕事の範囲を相当超えた言動をして、従業員の就業環境を害する事。人格否定や、外国人だから、みたいなのもアウトです。
セクシャルハラスメント…相手の意に反する不快な性的言動。この性的言動のせいで不利益を受けたり、労働環境などが害される性的嫌がらせがセクハラです。

ジェンダー…生物学的なオス・メスに対して、人々の生活から作られる性別。男性は仕事、女性は家事・育児、みたいに、違う役割を持たせる事。

※ハラスメントについては、ほかにもマタニティハラスメント＝マタハラ（妊娠・出産・育児に対する嫌がらせ）、カスタマーハラスメント＝カスハラ（異常なクレーム）、モラルハラスメント＝モラハラ（性別や立場に関係ないモラルに反した嫌がらせ）、など多数あります。



ハラスメント事例

やり取りをしていたとある工務店。先輩が自分のミスの後輩に押し付けて、物静かな後輩は何も言えずに責任を取らされていた。しばらくしてその工務店に行くと後輩の姿がない。話を聞いたら退社したとの事だった。

Point !

第1号のディーセントワークニュース裏面に記入して返信してくれた仲間の目撃談です。上記をご覧いただければ分かる通り、先輩という優越的な地位の人が仕事の範囲を超えて後輩の就業環境を害しています。しかも仕事を辞めるほどに追い込まれてしまった（涙）
退社する場合も、会社都合にする等闘い方があります。まずは労働組合に相談を！



ジェンダー事例

電気工事士の女性より。大手の現場監督から、何で現場に女がいるんだという風に顎で使われ、ゴミ以下の扱い。電気の免許もあるのに。男だったら何も出来なくても何も言われない。これでは女性はこの業界に来ないと思う。



Point !

町場群会議で出された仲間の体験談です。建設業界でも人手不足から女性の労働力を必要とし、「女性活躍・建設女子☆」などと言って、女性用トイレや更衣室の導入が少しずつ進んでいます。しかし、国土交通省データでは実際現場で働く女性技術者は5%前後、技能者では2%前後と極少数。働きやすい環境に変えるために、どんどん組合に情報をお寄せください

ディーセントワークヒストリー②

ディーセントワークとは？

「子どもに教育を受けさせ、家族を扶養する事ができ、30年から35年働くと老後の生活を営めるだけの年金がもらえるような労働（by IL0＝国際労働機関）」、すなわち「働きがいのある人間らしい仕事（by厚労省）」という意味です。2009年にIL0総会で21世紀の目標として決定されました。

労働組合の発祥は東京土建の仲間も大好きな居酒屋だった

労働組合の発祥は18世紀、イギリスのパブ。炭鉱労働者や建設労働者の集う居酒屋でした。当時の労働時間は16～18時間と言われ、超ブラックが当たり前の世の中でした。過酷な仕事が終わってから飲み屋に集まり、困った仲間がいたら助け合い、労働環境を良くするために助け合う中で労働組合が生まれました。ディーセントワークを実現するために労働組合運動をしてきた彼らと、彼らから運動を引き継ぎ広めてきた世界の労働者のおかげで、今では8時間労働・週休2日が基本とされています。

渋谷支部でも、安心して働ける建設業界にしていけるために何が必要か現場の声を集めるために、毎月1回同じ働き方の仲間同士が交流する居場所（群会議という名の交流会）を作っています。ぜひ参加してください！

憲法コラム

今回は9条の戦争放棄について。なんで東京土建が平和運動をしているの？労働組合に関係あるの？ともっともな疑問を持つ方がいます。実は、戦前、建設職人たちは国家防衛のために都市の住宅を壊したり、戦地の基地建設に動員されて亡くなりました。なので東京土建は「建設産業は平和であってこそ」をモットーにしているのです。第9条 日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。2 前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。はい、今月はここまでです。次号もぜひお付き合いくださいね！

組合の仲間のハラスメントやジェンダー差別体験談を募集します。ご自身が体験した事、目撃した事、周りから聞いた事、普段感じている事など、箇条書きで結構です。寄せられた体験談は匿名でニュースに掲載します。問題点や対応策を共有し、ハラスメントやジェンダー差別を可視化していきましょう。寄稿してくれた方にはクオカード1,000円分をお送りします。

名前



※渋谷支部事務所へ郵送またはFAX (03-5308-5930) してください